

令和6年度 第3回勝浦市地方創生総合戦略策定推進会議 会議録

開催日時 令和7年1月30日（木）10時00分～

出席委員 渡邊嘉男 信田哲夫 鈴木恒夫 渡邊浩之 吉野安男 浅野光映
竹下泰子 高梨眞一 石井春人 野村守 秋山直輝

欠席委員 乾康信 清野義弘 久我恵子 松田周平 渡邊喜代子 川本聖峻
前岡亮介 青木亨

事務局 情報政策課 高橋課長 原情報政策係長 蛸主事

議 題 (1) (仮) 第3期勝浦市地方創生総合戦略策定方針（案）について
(2) その他

会議の概要

| 発言者 | 発言（要旨） |
|-----|---|
| 副会長 | <p>【10時00分】</p> <p>事務局高橋課長より、会議開会を宣言。欠席者の報告を行う。</p> <p>議長である渡邊会長より、出席委員は11名であり、定足数に達していることから、会議の成立について宣言が行われた。</p> <p>(1) (仮) 第3期勝浦市地方創生総合戦略策定方針（案）について</p> <p>事務局より資料に沿い、策定方針（案）、副会長からの意見、国の地方創生の動き、事前意見等について説明を行い、国の地方創生2.0基本構想の動向、副会長からの意見を踏まえ、策定方針（案）について、市の総合計画中期基本計画との整合性を図るべく、対象時期を令和9年度からの4年計画に修正する旨の説明を行う。また、本会議の委員構成についての意見を求める。</p> <p>総合戦略の開始時期についての意見に対する補足説明を行う。全委員の共通目線、認識を合わせるため、総合戦略の上位計画である勝浦市総合計画の所持を確認し、未所持者に対しては、事務局より再配布のうえ、内容の目通しを依頼する。令和9年度に中期の計画がスタートするため、8年度で先行して</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>進むと、上位計画の施策が変わる可能性があるため、独り歩きしてしまう可能性があるため、上位計画との一貫性を持つため、中期計画と合わせた令和9年度からスタートとする総合戦略を提案した。改めて第2期総合戦略の施策や目標数値をについて精査をし、審議を踏まえ、中期基本計画の施策と合わせ次期計画に取り入れた形で進めれば、非常に精緻な計画を策定することができると思え、1年遅らせ中期の基本計画と合わせたスタートを提案した。</p> |
| 委員 | <p>委員意見要旨</p> <p>副会長の意見、中期計画に合わせ戦略を練り、スタートを合わせることは、非常にいいことと思う。中期計画と合わせ4年にしないと、また1年ずれてしまうので、総合戦略も4年に変えたほうがいいのか、総合計画の中期計画の策定期間はいつごろになるのか。それと合わせ次期戦略も立てたほうがいいのかではないかと思う。</p> |
| 委員 | <p>事務局案として5カ年計画にした意図は。</p> |
| 事務局 | <p>国の総合戦略が5カ年計画として期間が定められているため、従来これにより期間を定めてきたが、事務局としても令和9年度からの4カ年、中期基本計画と期間を合わせた4年に修正を考えている。</p> |
| 事務局 | <p>総合計画中期基本計画の策定期間は、通常2年前から作成に入る。令和8年夏に首長（市長）選挙が予定され、首長の考え方を入れた総合計画を作成することとなる。そのため、総合戦略の計画期間を1年ずらすことが整合性が取れるのではないかと事務局も考えている。</p> |
| 議長 | <p>これらの意見をまとめるのではなく、事務局に委ねることによいか。</p> |
| 事務局 | <p>会議の意思を意見としてまとめていただいて、改めて執行部で取り扱いについて検討させていただければと思う。令和8年度開始の案を修正する意見であれば、この会議の意見をいただいて、修正の作業として入ることになる。</p> |
| 議長 | <p>はじめに委員会の意見としてまとめるかを諮る。</p> <p>挙手多数により委員会の意見としてまとめることに決する。</p> |
| 議長 | <p>次に（仮）第3期勝浦市地方創生総合戦略策定方針（案）の策定について、1</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>年延長（第2期を1年延長し、第3期を令和9年度開始）とすることを諮る。 挙手全員により1年延長とすることに決する。</p> |
| 議長 | <p>次に、計画期間を総合計画中期基本計画と合わせた4年間とすることについて諮る。 挙手多数により、4年間とすることについて決する。</p> |
| 議長 | <p>（仮）第3期勝浦市地方創生総合戦略策定方針（案）について、事務局の説明と、ただ今の開始時期を1年延長のうえ期間を4年間とすることを、本会議の決定とすることにご異議ございませんか。</p> |
| 議長 | <p>（異議なしとの声あり） 異議なく（仮）第3期勝浦市地方創生総合戦略策定方針（案）につきまして、本会議の決定とする。本会議の結果を踏まえ、事務局に調整を依頼する。</p> |
| 事務局 | <p>本会議の決定結果を踏まえ、庁内において報告し検討したい。</p> |
| 議長 | <p>次に、本会議の構成員について、子育て世代の代表を追加してはどうかとの意見が出されていますが、この意見によらず、本会議の委員の構成について、何か意見がある方はいらっしゃいますか。</p> |
| 議長 | <p>（意見なく終結する。） いただいた意見につきましては、集約させていただき、次期戦略の策定に向け事務局に調整していただきたいと思います。</p> |
| 議長（会長） | <p>（2）その他 1年間延長については、第2期を引き続き2026年もやるということで、副会長から話があったが、そこを具体的にどうするのか、ただ延長するだけなのか、第2期を見直して、特に2025年こうするべきということが必要かと思うが、副会長いかがか。</p> |
| 副会長 | <p>勝浦市の総合計画が非常に重要な計画であり、改めて委員の皆さんにお目通しをいただきたいと思います。勝浦市がこうあるべき、こうなりたいということが織り込まれ、それを実現するために、前期・中期・後期と計画が立てられている。本会議の意義、総合戦略の意味は、市の総合計画を具現化するための施策を皆さんで考えていただき、活動についての評価をするのが大きな趣旨だと思いますので、そこを頭に入れながら会議に出席いただけると非常に良い</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>会になるのではないかと考えている。先ほど会長からありましたとおり、前回の会議で、いろいろ評価をいただいて、例えば、最初の農林水産業の振興は、農業者数、漁業者数が書いてあるが、数値の算定基準が変わっていたり、農業者数の把握については、新規の農業者がどのくらい増えているか組合員数だけでは測れない部分があるとか、そのようなものが非常に多く散見されているので、まず 2025 年度については、改めて、その数値が知りたい数値、もしくは目標にする数値として正しいのかを、ご審議いただきたいと思う。その上で 2027 年度には新たな総合戦略を立てなければならないので、本当にこの立てた計画が成し遂げられた場合に、2034 年度にあるべき姿として考えている総合計画の姿になるか。具体的な施策として正しいかどうかを、多くの意見をこの会議で進言していただくといいのではないかと考える。それには各世代、各業種の方、今参加いただいている方、それぞれの意見が必要だと思う。先ほど事務局の方から、国の動きの進捗度合いの説明があったと思うが、勝浦市のことについては、やはり勝浦市に携わっている方が決めていくことが一番正しいことだと思うので、国の戦略は当然あるが、勝浦市として一貫した政策、具体策をもって施策、計画を進めていくことで、よりより将来が見つけられるのではないかと考えるので、その辺を考えながら皆さんに審議をいただきたいと思う。</p> |
| 議長 | それは意見として取り上げていただきたいと思います。 |
| 事務局 | <p>総合計画の冊子は 150 ページ余あり、基本構想が 12 年間変わらないが、基本計画は 4 年に 1 回変わり、100 ページ分ぐらいあるが、その中のリーディングプロジェクトが、首長が特出しでやりたいことが書かれ、さらに市の各基本計画は七つの項目に分かれ、総合的にこうしていくと示されているので、リーディングプロジェクトは、ときの首長が特にやりたいこと、それ以外の七つの項目については、総合的にやらなければいけないことが載っていると見ていただくと考え方が変わると思います。</p> |
| 議長 | <p>それでは、副会長からの意見として取り上げたいと思う。1 年間延長については、第 2 期の見直しと、もう一つは、次期の計画については、皆さんの意見等も反映しながらよりいいものを作り上げていく 1 年にしていければいいと思います。</p> |
| 委員 | 策定方針（案）の 1.趣旨の文中に、人口の減少に歯止めがかからないと、入 |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>っている。なんで人口が減ってきたのか。歯止めをかけるにはどうしたらいいか具体的に教えてください。勝浦市には武道大学という有名な武道の学校がありますが、学生が各年度で何人ぐらいいるのか。卒業生の何人が勝浦市に勤めているかの実績、見込等と、なんで人口が減ってしまっているのか。この歯止めのかからない状況に、具体的に人口減少を抑える切り札があるのかと、武道大学の卒業生が何人いて、何人勝浦市に残っていただいているか。</p> <p>人口減少の原因は、国全体の流れでもあるが、やはり少子高齢化が勝浦市はさらに顕著。今年度については、出生数は50人を割るような形。特に若い世代、子育て世代が定着していないことが見てとれる。社人研の人口推計のデータは、20年後2045年には、1万人を割り込むという数字が出ている。実際に社人研の予想よりもさらに減少している現状。歯止めをかけることについては、答えは見つからない部分はある。この総合戦略や総合計画に記載される事業を、より確実、着実に成果を出していくことが最終的には人口減少の歯止めをかけるのは難しいと思うが、減少の割合をなだらかに、急降下するところを少しでも食い止めていく形にできると思い、行政側も日々の業務に励んでいる。国際武道大学について、データは残っていないが、今入学は400人余、1,600人から1,700、800人ぐらいの学生がいますが、卒業した段階では、ほとんど勝浦市には残っていない。やはりここで暮らしていくには、例えばお金を稼ぐことができない、東京等々職場に行くのも便が悪い、いろいろなことはあると思うので、子育てに注力して政策を進めていくことはもちろんですが、今、勝浦に暮らしている方全員がこの総合計画の中での目標である、心豊かに過ごせるまちを実現するために、行政の仕事をしている。武道大学の件については、わかったら皆様の方にお知らせするようにしたい。</p> |
| 委員 | <p>全国から集まる会議に出席するが、勝浦をあまり知っている人がいないが、勝浦市は、年間夏は涼しい、非常に海のそばで海水浴、魚介類、農業もいいと紹介すると、そんなにいい所に住んでいるのですかと褒められる。だから、市長もよく言ってるが、勝浦はいいということをもっと全面的に周知、広めていく、人口減を最小限に抑えることは、勝浦市のよさをもっと、発信していくことも大事かと思います。</p> |
| 事務局 | <p>全国の集まりの中で勝浦が褒められることにおいては、勝浦市の魅力を発信しているということに、ある程度成功していると思っている。全国的にも、勝浦は、夏は涼しいというイメージが築きつつあるという意味では、半分広報</p> |

| | |
|-----|--|
| 会長 | <p>戦略はかなり成功していると思っている。次のフェーズとして、興味をいただいている間に、実際に来てみよう、さらに住んでみようというところまで持ち込めるかが、今の喫緊の課題ですので、そのようなところも今度の総合戦略や総合計画の中でも注力していく必要があるかと思います。</p> <p>少し引っかかったのは、人口減少傾向に歯止めがかからないという表現が適切かどうか、歯止めをかけることが一つの戦略の趣旨だと思う。だからこの表現を変えてもらった方がいい。変わらないということではなく、そのような状況だけどというところに止めていただいて、そのためにいろいろな施策を打ってるわけで、1人でも歯止めがかかるように対応をしてるわけですから、この表現がもうかからないという、諦めの表現は、あまりよくない感じがするので、ここの表現を和らげてもらうというか、だからどうするということが見えた方がいいという意見です。</p> |
| 議長 | <p>他にございますか。ないようですので事務局から。</p> |
| 事務局 | <p>委員の構成について、この場では改めて意見が出ませんでした。事前にいただいている意見がございますので、そちらも踏まえまして、事務局で調整を進めさせていただきたいと思います。</p> |
| 議長 | <p>第3回地方総合戦略策定推進会議を閉会とする。</p> <p>(10時51分 終了)</p> |